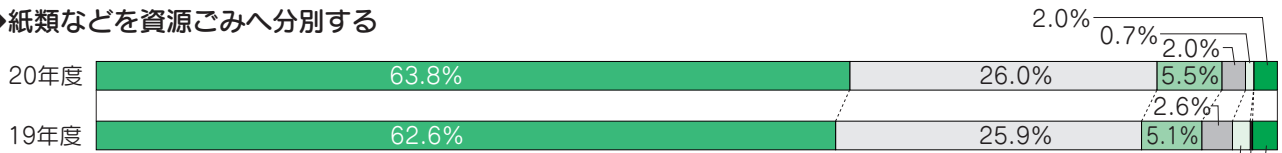


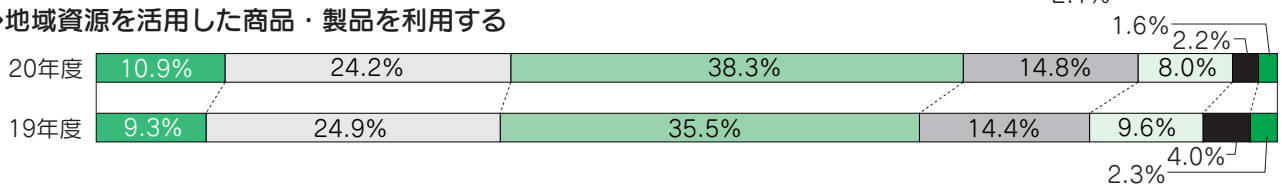
日ごろ心掛けていることについて

【凡例】
■ 心掛けている ■ どちらかといえば心掛けている ■ どちらともいえない
■ どちらかといえば心掛けていない ■ 心掛けていない ■ わからない ■ 記載なし

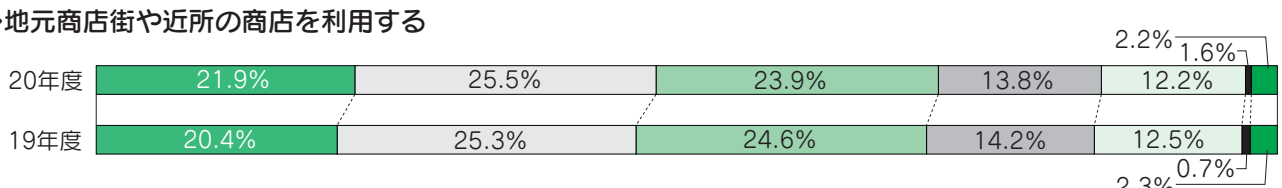
◆紙類などを資源ごみへ分別する



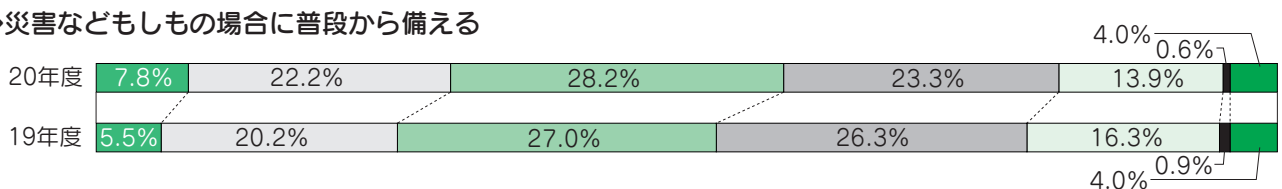
◆地域資源を活用した商品・製品を利用する



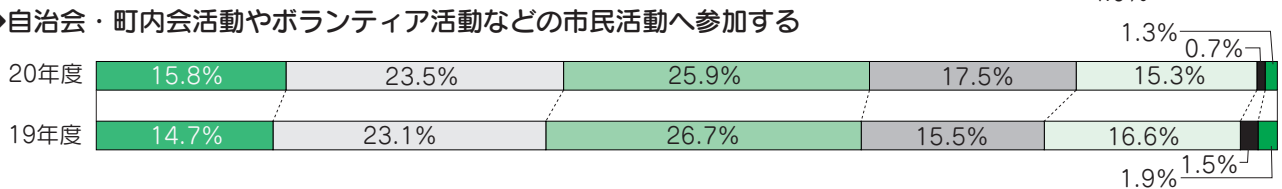
◆地元商店街や近所の商店を利用する



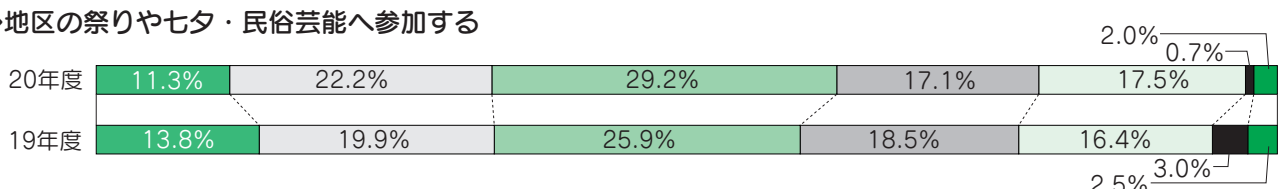
◆災害などもしもの場合に普段から備える



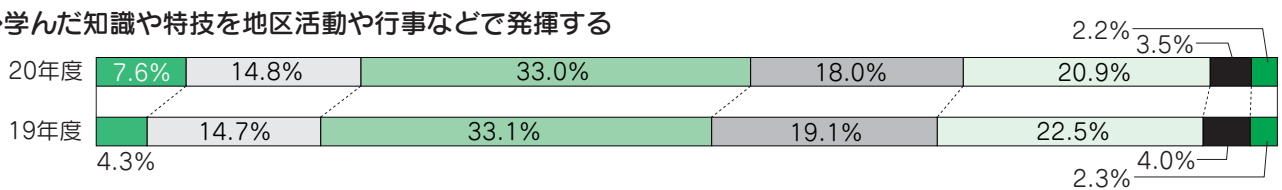
◆自治会・町内会活動やボランティア活動などの市民活動へ参加する



◆地区の祭りや七夕・民俗芸能へ参加する



◆学んだ知識や特技を地区活動や行事などで発揮する



「資源ごみへの分別」では、「心掛けている」「どちらか」といって心掛けているをあわせて（以下「肯定的意見」という）昨年より1.3ポイント増の89.3%とかなりの効率で意識されおり、増加傾向にあった。

「地域資源活用商品・製品の利用」は「肯定的意見」が微増しているが、なお一層の浸透が望まれる。

「地元商店街などの利用」は「肯定的意見」が1.7ポイント増の47.4%と、約半数の方の購買先選択肢に入っている。

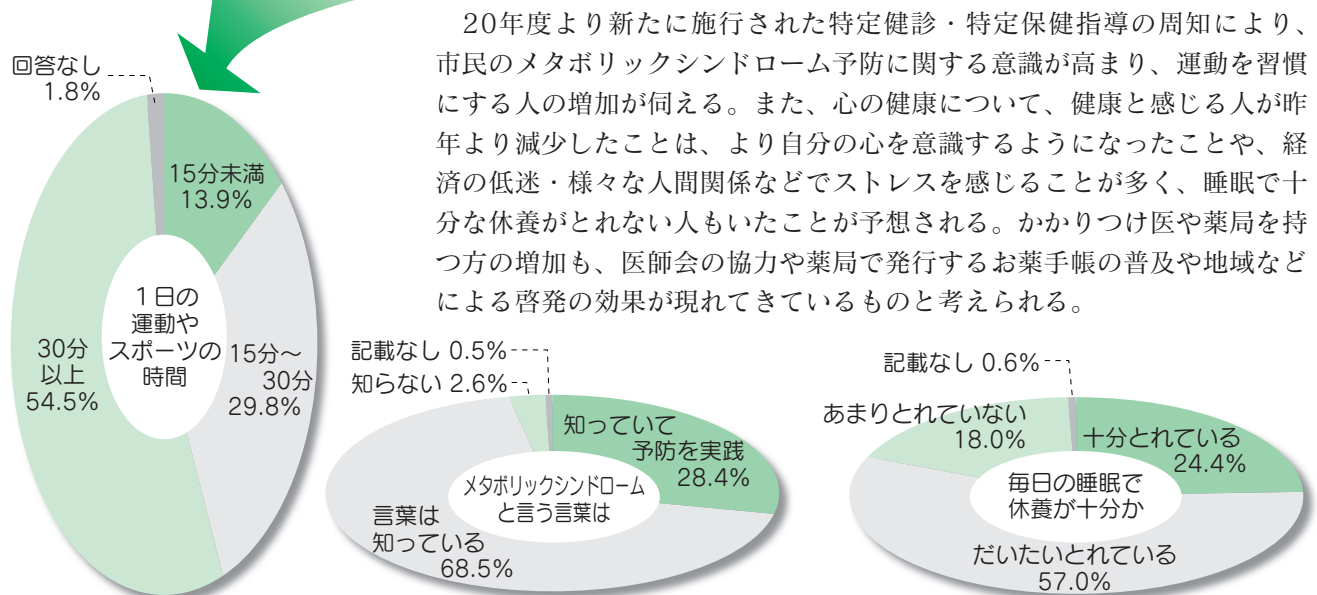
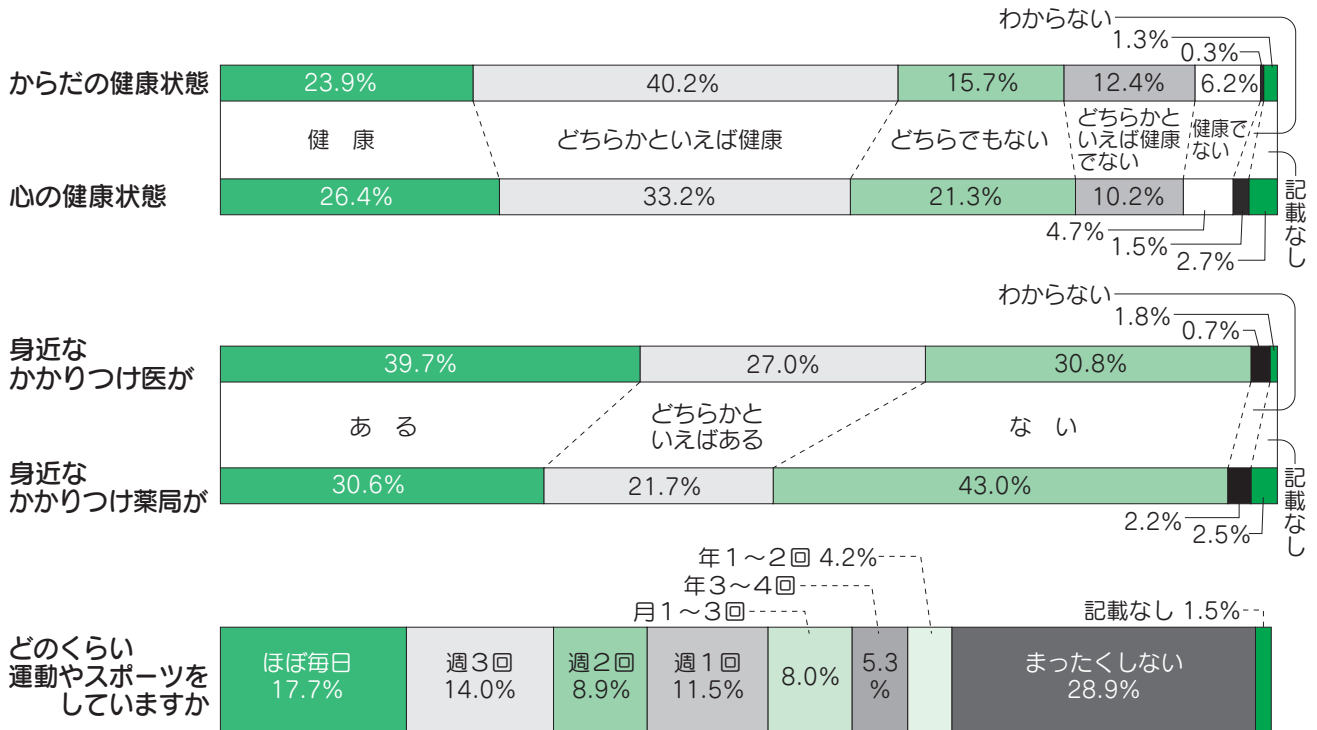
「災害などへの普段からの備え」は「肯定的意見」が4.5ポイント増と意識は浸透しつつあるが、30.0%にとどまり、なお一層の浸透が望まれる。

「市民活動への参加」は「肯定的意見」が1.5ポイント増の39.3%となったが、「心掛けていない」「どちらか」といって心掛けていないをあわせた（以下「否定的意見」という）数値も0.7ポイント増の32.8%となっている。

「地区の祭りなどへの参加」は「肯定的意見」「否定的意見」とともに微減となり、「どちらともいえない」が3.3ポイント増となっている。

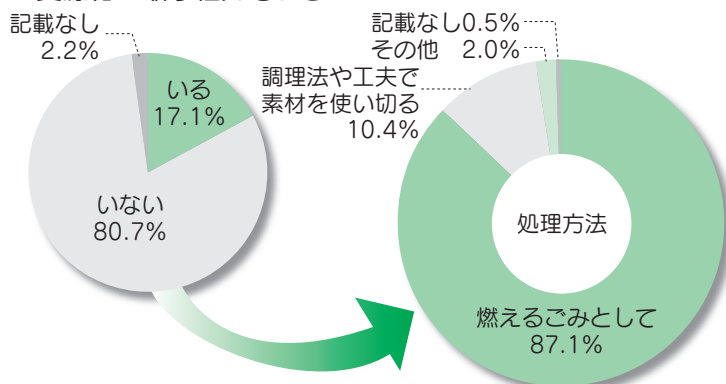
「知識や特技を地区活動で発揮する」は「肯定的意見」が3.4ポイント増と意識は浸透しつつあるが、22.4%にとどまり、まだ少し消極的な面が伺える。

あなた自身のことについて



生ごみの減量・資源化について

Q コンポストなどによる堆肥化で資源化に取り組んでいる



生ごみの資源化に取り組んでいると答えた方は17.1%、取り組んでいないと答えた方は80.7%となっている。

また、生ごみの資源化に取り組んでいないと答えた方のうち、生ごみの処理方法については「燃えるごみとして出す」が87.1%となっており、今後は、現在燃えるごみとして処理されている生ごみの資源化に向けた取り組みを推進していきます。